

平成27年度定時総会資料

平成27年6月11日

東三河懇話会

平成27年6月11日（木）午後3時～6時
於：ホテルアークリッシュ豊橋

東三河懇話会 平成27年度定時総会次第

午後3時～3時40分 **定時総会** 5階「ザ・グレイス」
議案（1）役員変更の件（会長交代他）
（2）平成26年度事業報告並びに収支決算の件
（3）平成27年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件
（4）その他

午後3時45分～4時45分 **記念講演** 5階「ザ・グレイス」
講師：東三河広域連合 連合長 佐原 光一氏
演題：「東三河の持続可能な地域づくり～東三河広域連合の果たす役割～」

（移動）

午後5時～6時 **交流懇親パーティ** 4階「ザ・テラスルーム」

議案1. 役員変更の件

役職	前任	新任
会長	サーラグループ 名誉顧問 神野 信郎	豊橋信用金庫 理事長 吉川 一弘
専任理事	古澤 功三	伊藤 恵祐
常任理事	中部電力(株)執行役員岡崎支店長 大瀧 敏幸	中部電力(株)執行役員岡崎支店長 市川 弥生次
同	トピー工業(株)豊橋製造所長 棚橋 章	トピー工業(株)豊橋製造所長 加納 愛仁
同	西島(株)代表取締役 西島 篤師	西島(株)代表取締役 西島 豊
理事	(株)三井住友銀行 豊橋支店長 古川 勝久	(株)三井住友銀行 豊橋支店長 北澤 裕司
同	三井住友信託銀行(株)豊橋支店長 目澤 裕二	三井住友信託銀行(株)豊橋支店長 大富 哲夫

東三河懇話会役員名簿（案）

会 長	豊橋信用金庫 理事長	吉川 一弘
副会長	豊川信用金庫 会長	日比 嘉男
同	小池商事（株）代表取締役社長	小池 高弘
同	本多プラス（株）代表取締役会長	本多 克弘
同	中部ガス（株）代表取締役会長	中村 捷二
同	（株）トヨタテック 代表取締役社長	小野 喜明
同	（株）サーラコーポレーション 代表取締役社長	神野 吾郎
専任理事	東三河懇話会	伊藤 恵祐
常任理事	（株）アイセロ 代表取締役社長	牧野 渉
同	（株）オノコム 代表取締役会長	小野喬四朗
同	蒲郡信用金庫 理事長	竹田 知史
同	（株）サイエンス・クリエイト 代表取締役専務	原田 公孝
同	真田工業（株）代表取締役会長	磯村 浩隆
同	新東工業（株）特別顧問	川合 悦藏
同	鈴与（株）豊橋支店長	柳川 明
同	（株）総合開発機構 取締役社長	岩佐 朝実
同	総合ポートサービス（株）代表取締役社長	柴田 忠男
同	（株）大三コーポレーション 代表取締役社長	松井英治郎
同	（株）田村組 代表取締役会長	田村 幹洋
同	中部電力（株）執行役員 岡崎支店長	市川弥生次
同	（株）デンソー 豊橋製作所長	古海 盛昭
同	トピー工業（株）豊橋製造所長	加納 愛仁
同	トヨタ自動車（株）田原工場 常務理事田原工場長	朝倉 正司
同	（株）豊橋キャンパスイノベーション 代表取締役	亀頭 直樹
同	豊橋鉄道（株）代表取締役社長	伊藤 正雄
同	豊橋三菱ふそう自動車販売（株）代表取締役社長	鈴木伊能勢
同	名古屋鉄道（株）取締役不動産事業副本部長	高崎 裕樹
同	西島（株）代表取締役社長	西島 豊
同	西日本電信電話（株）名古屋支店東三河営業支店長	武田 芳幸
同	日東電工（株）豊橋事業所長	吉川 孝雄
同	日本ジュース・ターミナル（株）代表取締役社長	石川 百代
同	フォルクスワーゲングループジャパン（株）常勤監査役	菊地 啓一
同	（株）ほの国百貨店 代表取締役社長	牧野 浩志
同	三菱レイヨン（株）執行役員豊橋事業所長	福居 雄一
同	ヤマサちくわ（株）取締役相談役	佐藤 元彦

理事	アオキトランス（株）取締役社長	遠藤 修
同	（株）大林組 豊橋営業所長	岡田 孝一
同	岡崎信用金庫 理事長	大林 市郎
同	鹿島建設（株）執行役員 中部支店長	片山 豊
同	ガステックサービス（株）ホテルアークリッシュ豊橋 総支配人	宮川 直樹
同	川北電気工業（株）取締役社長	大津 正己
同	（株）静岡銀行 豊橋支店長	那須田博久
同	（株）清水銀行 代表取締役会長	山田 訓史
同	清水建設（株）専務執行役員 名古屋支店長	井上 和幸
同	鈴与（株）取締役社長	鈴木 与平
同	（株）総合開発機構 専務取締役	今泉 悟
同	総合埠頭（株）代表取締役社長	山口 皓三
同	大成建設（株）専務執行役員 名古屋支店長	池口 純一
同	（株）田中屋 代表取締役	田中正治郎
同	（株）中日新聞社 代表取締役会長	白井 文吾
同	（株）中部 代表取締役社長	石原 裕
同	中部電力（株）相談役	川口 文夫
同	東海CS（株）代表取締役社長	富田 茂充
同	（株）トーエネック 豊橋営業所長	伊藤 智啓
同	トピー海運（株）代表取締役社長	平野 正幸
同	（株）名古屋銀行 取締役頭取	中村 昌弘
同	名古屋鉄道（株）代表取締役社長	山本 亜土
同	日本通運（株）豊橋支店長	倉地 勝彦
同	（株）紅久商店 代表取締役社長	三浦 圭吾
同	（株）三井住友銀行 豊橋支店長	北澤 裕司
同	三井住友信託銀行（株）豊橋支店長	大冨 哲夫
同	ユタカコーポレーション（株）代表取締役副会長	磯村 博宣
監事	豊橋信用金庫 専務理事	市川 智嗣
同	（株）三菱東京UFJ銀行 豊橋支社長	木村 雄一
同	中部電力（株）豊橋営業所長	伊藤 芳幸

【新任】

常任相談役

サーラグループ 名誉顧問

神野 信郎

議 案 2. 平成26年度事業報告並びに収支決算の件

東三河懇話会

平成26年度事業報告

自 平成26年 4月 1日

至 平成27年 3月31日

昨年は人口減少、少子高齢化と東京一極集中等で、地方の市町村が消えてゆくような「消滅可能性都市」という衝撃的な言葉が全国に拡がりました。しかし、わが国経済は、日銀の大胆な金融政策と政府の機動的な財政出動による円安、株高により輸出産業を始めとして企業業績の改善が見られました。自動車、電機などの大手企業では賃上げが実施され、中小企業への広がりも期待されています。こうした中、今年3月の日銀短観では、景況感は昨年末まで改善してきたものの年明けより足踏み状態が続いています。アベノミクス第三の矢の成長戦略の役割が益々高まっていると言えます。

東三河に目を向けますと、自動車産業を中心に景況感が上向く中、設楽ダム建設が決定し、ベントでは新しいデリバリーサービスが開始されました。ラグーナ蒲郡では新しい民間の力が導入され、東三河広域経済連合会では三河港、観光、人材に対する新しい事業が具体的に動き始めました。今年1月には、東三河広域連合が設立され、産学官民の力を合わせ、東三河を元気のある地域のモデルとして打ち出すチャンスが来たとも言えます。

平成26年度の当会事業を振り返りますと、年度初めの産学官交流サロンで豊橋技術科学大学の 大西 隆新学長に口火を切っていただきました。10月には、交流サロン360回、30周年を迎えたこともあり、東三河の産学官を代表する5名の方にご登壇いただいたパネルディスカッションを行い、200名を超える会員の皆さまのご参加をいただきました。その他には、「幹線道路計画説明会」「三河港事業計画等説明会」「新東名高速道路現場視察会」等、地域の基盤整備に繋がる交流機会を設けてきました。

引き続き、平成27年度も会員の皆様のニーズを受け止め産学官交流の質の向上を目指してまいりますので、会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

(1) 重点戦略事業

①三遠南信地域連携ビジョン、これからの東三河のグランドデザイン想定

東三河産学官交流サロン、東三河午さん交流会などの事業を通じ、三遠南信地域連携ビジョンの浸透と東三河の広域連携推進のグランドデザイン想定に資する講演会などを開催した。

②東三河広域連合設立に向けての側面支援

東三河産学官交流サロン、東三河5市長・1郡町村会長を囲む新春懇談会などの事業を通じ、側面支援に注力した。尚、東三河広域連合は、平成27年1月30日に設立された。

③東三河広域経済連合会との連携

東三河地域研究センターのシンクタンク機能を活用して、政策提言、ビジョン策定支援などで連携、協力を実施した。

(2) 広域連携事業

①国際自動車コンプレックス研究会

第17期目の研究活動を継続している。「第12回 高等学校エコカーレース」の共催、研究交流会、国内視察会などを開催した。
(詳細後記)

②三遠南信サミット2014

平成26年10月に浜松アクトシティで行われた第22回 三遠南信サミットに参加し、三遠南信地域の連携・交流に協力した。

③三河港振興会、三河湾浄化推進協議会、伊勢湾再生海域検討会

三河港湾関係諸団体の活動に参画、協力した。

(3) 産学官民交流事業

①東三河産学官交流サロン(12回/年)

3団体共催(東三河懇話会、(公社)東三河地域研究センター、TCIクラブ)で、12回開催した。

地元大学の新学長や地域で活躍されている経済人などを講師としてお招きして、産学官民の交流連携、情報交換の場を提供した。平成26年10月には、第360回30周年記念サロンとして「東三河の産学官交流～これまでの経緯、そしてこれからの進化～」をテーマとしたパネルディスカッションを開催した。

(第354回～365回 詳細後記)

②東三河午さん交流会(10回/年)

10回開催した。地域に密着したさまざまな話題をピックアップして、東三河においての文化的、芸術的活動を実践・貢献されている方々を紹介した。

(第141回～150回 詳細後記)

③東三河5市長・1郡町村会長を囲む新春懇談会

新春恒例の東三河の全市長、北設楽郡町村会長によるパネルディスカッションを実施し、「これからの東三河の姿～広域連合と次世代に向けた創生～」をメインテーマとして、東三河広域連合を用いた地域づくりなどについての活発な議論が行われました。

(詳細は、会報MIKAWA—NAVI特別号に掲載)

④視察会

10月「瑞浪超深地層研究所・核融合科学研究所」、11月「新東名高速道路建設現場視察会」を実施した。
(詳細後記)

(4) 会員サービス事業

①三河港関連事業整備計画・東三河地区幹線道路整備計画の説明会

平成26年6月に「三河港関連事業計画等説明会」を三河港振興会と共催した。
(詳細後記)

同じく7月に「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」を共催した。
(詳細後記)

②東三河地域問題セミナー

(公社)東三河地域研究センターの主催で4回、さらに平成27年3月に、地域関連研究発表会を開催、運営協力をした。
(詳細後記)

③広報

会報誌MIKAWA-NAVI(季刊)の発行。新春特別版の発行。
ホームページによる広報。URL：<http://www.konwakai.jp>

(5) 会員増強

○新入会

[法人会員] 4口

- ・近畿日本ツーリスト(株)
- ・(株)山下設計 中部支社
- ・(株)オフィスサポートセンター
- ・(株)ハクヨプロデュースシステム

[法人会員] ※個人会員から移行 1口

- ・西島(株)

(敬称略)

運営の部

1. 定時総会・記念講演

平成26年6月18日（水）午後3：00～6：00

於：ホテルアークリッシュ豊橋

・議事

議案1. 平成25年度事業報告並びに収支決算報告

議案2. 平成26年度事業計画（案）並びに収支予算（案）

議案3. 任期満了に伴う役員改選に関する件

・記念講演 農林水産省 東海農政局 局長 森 多可志氏

「攻めの農林水産業の推進について」

（詳細後記）

2. 理事会

平成26年5月22日（木）午前11：00～12：00

於：ホテルアークリッシュ豊橋

3. 会員数及び口数の状況

(1) 入会	法人会員	5社	(5口)
退会	法人会員	1社	(1口)
	個人会員	1名	(1口) ※法人会員へ移行

(2) 平成27年3月31日現在会員数

法人会員	151社	(184口)
個人会員	2名	(2口)
特別会員	11団体	(27口)
推薦会員	2名	—

資料（事業の詳細）

1. 国際自動車コンプレックス研究会 活動状況

- (1) 第12回高等学校エコカーレース総合大会（H26.6.1 於：ユタカ自動車学校 特設コース）
出走台数：エコハイクラス9台、オープンクラス29台、充電池部門10台
来場者数：800人
- (2) 第41回研究交流会（H26.6.19 於：豊橋市民センター 6階多目的ホール）
講師：豊橋技術科学大学
未来ビークルシティリサーチセンター/建築・都市システム学系 教授 廣島康裕氏
講演1：「三河港における交通渋滞に伴う諸問題の軽減策の検討」
講師：豊橋技術科学大学
未来ビークルシティリサーチセンター/建築・都市システム学系 准教授 洪澤博幸氏
講演2：「三河港に立地する企業の経済波及効果の計測」
出席者：51名
- (3) 第42回研究交流会（H26.8.7 於：豊橋市民センター 6階多目的ホール）
講師：(一社)日本自動車リサイクル部品協議会 代表理事 清水信夫氏
演題：「自動車リサイクルの現状と今後の展開」
出席者：35名
- (4) 第43回研究交流会（H26.9.25 於：名豊ビル 7階ホールC）
講師：ツネイシホールディングス(株) 新事業開発部 部長 森 悟志氏
同 課長 金政和宏氏
演題：「防災と自給自足を目指した臨海型スマートコミュニティ実証事業」
出席者：41名
- (5) 新東名高速道路建設現場 視察会（H26.11.20） ※共催
・佐奈川橋、本宮山トンネル他
参加者：26名
- (6) 第16期報告総会・記念講演会（H26.12.18 於：ホテルアークリッシュ豊橋 4階テラスルーム）
・記念講演会
講師：日本自動車輸入組合（JAIA） 会員業務部 部長 岸田久教氏
演題：「我が国の自動車輸入の展望と三河港への期待」
出席者：43名
- (7) 視察会（H27.5.27～5.28）
・広島港港湾施設見学・・・広島港の海上視察、マツダ(株)宇品工場視察（予定）

2. 講演会、懇談会等

- (1) 総会・記念講演会 (H26.6.18 於：ホテルアークリッシュ豊橋)
講 師：農林水産省 東海農政局 局長 森 多可志氏
演 題：「攻めの農林水産業の推進について」
出席者：総会 118 名、講演会 145 名、懇親会 106 名
- (2) 平成 26 年度 三河港関連事業計画等説明会 [三河港振興会と共催]
(H26.6.5 13:30~15:00 於：ライフポートとよはし 中ホール)
・平成 26 年度 三河港関連事業計画等説明
講 師：国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 所長 鈴木信昭氏
愛知県 三河港務所 所長 山口 豊氏
愛知県 三河港工事事務所 所長 村瀬敏弘氏
参加者：110 名
- (3) 平成 26 年度 東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会 [三河港振興会と共催]
(H26.7.8 14:00~16:00 於：穂の国とよはし芸術劇場 P L A T)
・平成 26 年度 東三河地区幹線道路整備計画説明
講 師：国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 所長 松田正尚氏
国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 所長 天野邦彦氏
中日本高速道路(株) 豊川工事事務所 所長 村上修一氏
愛知県 東三河建設事務所 所長 村澤勇一氏
愛知県 新城設楽建設事務所 所長 鈴木秀育氏
参加者：139 名
- (4) (公社)東三河地域研究センター 通常総会での記念講演会
・通常総会 (11.28 14:30~16:45 於：名豊ビル 8階コミュニティーホール)
テーマ：「東三河の農業発展の未来～コミュニティベースの精密農業の新展開～」
講 師：東京農工大学大学院 農学研究院 教授 澁澤 栄氏
参加者：89 名

3. 東三河産学官交流サロン (公社)東三河地域研究センター、TCIクラブの2団体と共催
(年12回、毎月第3火曜日を原則 18:00~20:30 於:ホテルアークリッシュ豊橋)

第354回 4.22(火) 参加者121名

- ・豊橋技術科学大学 学長 大西 隆氏
「震災復興と日本学術会議」
- ・新城市 市長 穂積亮次氏
「はばたこう ひと・まち・みらい ー新城市ー」

第355回 5.20(火) 参加者101名

- ・愛知大学 地域政策学部 教授 野田 遊氏
「市町村の自治と広域自治体の政策」
- ・(株)トヨテック 代表取締役社長 小野喜明氏
「東三河広域連携による人材育成プロジェクト」

第356回 6.25(水) 参加者88名

- ・豊橋技術科学大学 副学長/建築・都市システム学系 教授 大貝 彰氏
「防災・減災の視点から広域連携を考える」
- ・(株)フェニックス 代表取締役社長 浜武恭生氏
「bjリーグ浜松・東三河フェニックス プロバスケットボール事業を通じて
～地域密着プロスポーツビジネスの現状～」

第357回 7.17(木) 参加者98名

- ・国土交通省 中部運輸局 局長 野俣光孝氏
「訪日外国人客誘致の推進(昇龍道プロジェクト)」
- ・(株)ハクヨプロデュースシステム 代表取締役社長 笠原盛泰氏
「人の集まるまちづくり」

第358回 8.19(火) 参加者108名

- ・豊橋創造大学 保健医療学部 看護学科 学科長・教授 大島弓子氏
「いまを大切に生きる、過去ー現在ーそして未来へ」
- ・医療法人さわらび会・社会福祉法人さわらび会 統括本部長/元F1パイロット 山本左近氏
「F1から見た日本と世界」

第359回 9.17(水) 参加者85名

- ・愛知工科大学 工学部情報メディア学科 准教授 板宮朋基氏
「大規模災害発生時の車避難 ～問題点と最新技術活用の可能性～」
- ・国立病院機構 豊橋医療センター 緩和ケア部長 佐藤 健氏
「ホスピスと共にささえ合う街」

第360回 10.21(火) 参加者209名

<パネルディスカッション>

「東三河の産学官交流 ～これまでの経緯、そしてこれからの進化～」

[パネリスト]

- ・愛知県 知事 大村秀章氏
- ・豊橋技術科学大学 学長 大西 隆氏
- ・蒲郡商工会議所 会頭 小池高弘氏
- ・豊橋商工会議所 副会頭 神野吾郎氏

[コーディネーター]

- ・愛知大学地域政策学部 教授 戸田敏行氏

第 361 回 11.18 (火) 参加者 81 名

- ・浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 地域共創学科長 津村公博氏
「定住外国人との共生－多様性社会へ」
- ・セレンディップ・コンサルティング(株)最高顧問／元ポッカコーポレーション社長 内藤由治氏
「誇れる故郷は？」

第 362 回 12.16 (火) 参加者 75 名

- ・愛知大学 国際コミュニケーション学部 教授 塚本倫久氏
「辞書の編纂－英和辞典を中心に」
- ・国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所長 谷川知実氏
「東三河－水を通して考える」

第 363 回 1.20 (火) 参加者 83 名

- ・豊橋技術科学大学 総合教育院 准教授 中森康之氏
「技術者にとって『人間力』とは何か」
- ・内閣官房 地域活性化伝道師・商店街マネージャー (豊橋市) 長坂尚登氏
「僕が考える豊橋創生 ～うそから出たまこと大作戦」

第 364 回 2.17 (火) 参加者 100 名

- ・学校法人海陽学園 海陽中等教育学校 校長 中島尚正氏
「次代を担うリーダーの育成－全寮制の海陽学園の取組み」
- ・愛知県立時習館高等学校 校長 林 誉樹氏
「SSHとグローバル教育の融合を目指して」

第 365 回 3.17 (火) 参加者 79 名

- ・豊橋技術科学大学 機械工学系 教授 三浦博己氏
「マグネシウム合金の多軸鍛造(MDF)法による組織制御と高強度化」
- ・(株)平松食品 代表取締役 平松賢介氏
「つくだ煮屋が描く このまちの未来図」

4. 東三河午さん交流会（年 10 回、5、1 月を除く毎月第 1 金曜日 11:30～13:00）

第 141 回 4.4（金） 参加者 39 名

- ・鳳来寺山自然科学博物館 館長 加藤貞亨氏
「鳳来寺山自然科学博物館の半世紀の歩みと新城地方の自然」

第 142 回 6.6（金） 参加者 38 名

- ・椛山学園大学 国際コミュニケーション学部表現文化学科 教授 小川雅魚氏
「渥美に住まう魅力、東三河に住まう魅力」

第 143 回 7.4（金） 参加者 39 名

- ・蒲郡市竹島水族館 館長 安藤隆充氏
「地方都市の水族館が生き残るための戦略」

第 144 回 8.1（金） 参加者 40 名

- ・豊川市 建設部 次長 鈴木 高氏
「豊川市平和公園（仮称）整備に向けて～豊川海軍工廠の歴史を語り継ぐ～」

第 145 回 9.5（金） 参加者 61 名

- ・東海漬物(株) 代表取締役社長 大羽恭史氏
「成長社会から成熟社会へ 東三河の漬物ビジネス」

第 146 回 10.3（金） 参加者 35 名

- ・Salon RINKA 代表 太極拳インストラクター みなみりんか氏
「体が変われば、脳が変わる！5分でもいつまでも若々しく元気になれる 太極拳・カンフー体験講座」

第 147 回 11.14（金） 参加者 32 名

- ・設楽町長 横山光明氏
「設楽町視察ツアー」（1 日コース）

第 148 回 12.5（金） 参加者 42 名

- ・中日新聞 豊橋総局長 間野丈夫氏
「吉田通れば二階から招く～生かしたい『江戸』の面影」

第 149 回 2.6（金） 参加者 40 人

- ・(株)たびきちインターナショナル 代表取締役社長 楠田祐里氏
「急増する外国人観光客 その先にある発展とは？」

第 150 回 3.6（金） 参加者 45 名

- ・愛知大学 文学部教授（日本中世史専攻）山田邦明氏
「東三河の活力～戦国時代の人々」

5. 平成 27 年 東三河 5 市長 1 郡町村会長を囲む新春懇談会

(H27. 1. 9 於：ホテルアークリッシュ豊橋)

テーマ：「これからの東三河の姿 ～広域連合と次世代に向けた創生～」

内 容：東三河 5 市長・1 郡町村会長によるパネルディスカッション

パネリスト

豊橋市長	佐原光一氏
豊川市長	山脇 実氏
蒲郡市長	稲葉正吉氏
新城市長	穂積亮次氏
田原市長	鈴木克幸氏
北設楽郡町村会長（豊根村長）	伊藤 実氏

コーディネーター

愛知大学 学長	佐藤元彦氏
---------	-------

参加者：241 名

6. 視察会、セミナー

(1) 国内視察会の開催

- ・東濃地科学センター瑞浪超深地層研究所 他 視察会 (H26. 10. 22)

視察先：東濃地科学センター瑞浪超深地層研究所

自然科学研究機構 核融合科学研究所

参加者：24 名

- ・新東名高速道路建設現場 視察会 (H26. 11. 20)

視察先：佐奈川橋

本宮山トンネル工事現場

参加者：26 名

7. 東三河地域問題セミナー（主催：（公社）東三河地域研究センター）

- (1) 第1回公開講座(H26.4.24 於：豊橋市民センター（カリオンビル）6階多目的ホール)
演題：湖国に広がる近江商人の理念「三方よし」
講師：特定非営利月活動法人三方よし研究所 専務理事 岩根順子氏
参加者：31名
- (2) 第2回公開講座(H26.5.28 於：豊橋市民センター（カリオンビル）6階多目的ホール)
演題：「障害者福祉を視点としたまちづくり」
講師：社会福祉法人 岩崎学園 理事長 松下直広氏
演題：「障害者福祉計画（平成26年度－平成30年度版）について」
講師：豊橋市役所福祉部障害福祉課 主事 森下実希子氏
演題：「豊橋市における障害者支援の状況について」
講師：豊橋総合相談支援 統括相談員 江川和郎氏
参加者：68名
- (3) 第3回公開講座(H26.7.1 於：豊橋市民センター（カリオンビル）6階多目的ホール)
演題：「地域の防災力を高めよう～過去の災害現場から学ぶ」
講師：特定非営利活動法人レスキューストックヤード 代表理事 栗田暢之氏
演題：「災害！今、できること ～地域ぐるみで『命』を守る～」
講師：名古屋大学減災連携研究センター 近藤ひろ子氏
演題：「歴史地震記録に学ぶ防災・減災ガイドについて」
講師：愛知県防災局防災危機管理課 政策・企画グループ 山本真一郎氏
参加者：81名
- (4) 第4回公開講座 東三河の地場産業を知ろう（奥三河編）視察会(H26.9.2)
1. とよね木サイクルセンター
案内：豊根村役場経済土木科 課長補佐 村松和重氏
豊根村森林組合 業務課長 伊藤 桂氏
2. 湯～らんどパルとよね
案内：一般財団法人茶臼山高原協会 事務局長 青山和浩氏
一般財団法人茶臼山高原協会 業務グループ温泉マネージャー 山本和男氏
3. しんしろ菌床センター
案内：公益財団法人農林業公社しんしろ 菌床センター センター長 竹下知孝氏
参加者：34名

8. 東三河地域関連研究発表会（主催：（公社）東三河地域研究センター）

- (1) 第21回東三河地域関連研究発表会（H27.3.19 於：豊橋商工会議所 4階401会議室）
参加者：44名

9. 各種団体、調査委員会等への参加、協力

- (1) (一社) 中部経済連合会
- (2) (公財) 中部圏社会経済研究所
- (3) (一財) 東海産業技術振興財団
- (4) (株) 豊橋キャンパスイノベーション
- (5) (一社) 奥三河ビジョンフォーラム
- (6) 愛知県港湾協会
- (7) 三河港振興会
- (8) 三河湾浄化推進協議会
- (9) 伊勢湾再生海域検討会
- (10) 東三河生態系ネットワーク協議会
- (11) (NPO) 穂の国森づくりの会
- (12) (NPO) 朝倉川育水フォーラム
- (13) 東三河流域フォーラム
- (14) 一般国道151号改良促進期成同盟会
- (15) 豊橋みなとフェスティバル実行委員会
- (16) 豊橋観光コンベンション協会
- (17) (公財) 豊橋市国際交流協会
- (18) (公財) 豊橋文化振興財団
- (19) 豊橋日独協会
- (20) とよはし市電を愛する会
- (21) 豊橋市民愛市憲章推進協議会
- (22) 530運動環境協議会
- (23) 愛知県地球温暖化防止活動推進センター

平成26年度
収 支 決 算 書
(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

収入決算額	34,966,347円
支出決算額	33,306,340円
差引残高	1,660,007円

《 収 入 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
1. 会費収入	24,066,000	24,396,000	330,000	101.4%	
1) 法人会費	21,600,000	21,990,000	390,000	101.8%	184口
2) 個人会費	360,000	300,000	△ 60,000	83.3%	2口
3) 特別会費	2,106,000	2,106,000	0	100.0%	27口
2. 事業収入	6,750,000	7,281,114	531,114	107.9%	
1) 産学官交流サロン	4,360,000	4,867,648	507,648	111.6%	
2) 午さん交流会	1,390,000	1,406,341	16,341	101.2%	
3) 新春懇談会	800,000	819,625	19,625	102.5%	
4) その他の事業	200,000	187,500	△ 12,500	93.8%	
3. その他の収入	1,905,000	1,903,483	△ 1,517	99.9%	
1) 特定預金取崩収入	0	0	0	0.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
2) 雑収入	1,905,000	1,903,483	△ 1,517	99.9%	
① 受取利息	5,000	3,483	△ 1,517	69.7%	
② 雑収入	1,900,000	1,900,000	0	100.0%	
当期収入合計	32,721,000	33,580,597	859,597	102.6%	(A)
前期繰越収支差額	1,385,750	1,385,750	0	100.0%	
収入合計	34,106,750	34,966,347	859,597	102.5%	(B)

《 支出の部 》

(単位：円)

科目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備考
1. 運営事業費	2,050,000	1,931,791	△ 118,209	94.2%	
1) 総会・理事会費	750,000	723,773	△ 26,227	96.5%	
2) 広報費	1,200,000	1,115,303	△ 84,697	92.9%	会報誌発行・郵送等
3) 講演・説明会費	100,000	92,715	△ 7,285	92.7%	
2. 事業費	6,260,000	7,330,931	1,070,931	117.1%	
1) 産学官交流サロン	3,960,000	4,893,090	933,090	123.6%	
2) 午さん交流会	1,300,000	1,350,697	50,697	103.9%	
3) 新春懇談会	800,000	883,592	83,592	110.4%	
4) その他の事業	200,000	203,552	3,552	101.8%	
3. 調査・研究費	11,862,000	11,868,623	6,623	100.1%	
1) 調査・研究費	8,022,000	8,132,000	110,000	101.4%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,840,000	3,736,623	△ 103,377	97.3%	
4. 管理費	12,439,000	12,118,730	△ 320,270	97.4%	
1) 給料手当	5,320,000	5,324,623	4,623	100.1%	
2) 福利厚生費	1,030,000	1,029,112	△ 888	99.9%	
① 福利厚生費	170,000	195,519	25,519	115.0%	
② 法定福利費	860,000	833,593	△ 26,407	96.9%	
3) 会議費	15,000	14,310	△ 690	95.4%	
4) 旅費交通費	216,000	195,210	△ 20,790	90.4%	
5) 通信運搬費	570,000	615,064	45,064	107.9%	通信機器リース料含む
6) 消耗品費	756,000	559,753	△ 196,247	74.0%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	756,000	559,753	△ 196,247	74.0%	OA機器リース料含む
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	150,000	114,858	△ 35,142	76.6%	総会資料・会員名簿
9) 新聞・図書費	218,000	214,548	△ 3,452	98.4%	
10) 水道光熱費	300,000	233,878	△ 66,122	78.0%	
11) 賃借料	3,384,000	3,383,988	△ 12	100.0%	事務所賃借料
12) 交際費	60,000	18,217	△ 41,783	30.4%	
13) 諸会費	360,000	359,000	△ 1,000	99.7%	他団体の年会費等
14) 雑費	60,000	56,169	△ 3,831	93.6%	
5. その他の支出	56,265	56,265	0	100.0%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	56,265	56,265	0	100.0%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	0	100.0%	
当期支出合計	32,667,265	33,306,340	639,075	102.0%	(C)
当期収支差額	53,735	274,257	220,522		(A) - (C)
次期繰越収支差額	1,439,485	1,660,007	220,522		(B) - (C)

貸借対照表

平成27年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
(1)現金	82,559	
(2)預金	7,135,380	
(3)未収入金	912,424	
(4)仮払金	0	
流動資産合計		8,130,363
2. 固定資産		
(1)基本財産		
①定期預金	2,000,000	
基本財産合計	2,000,000	
(2)その他固定資産		
①設備什器備品	576,721	
②電話加入権	213,000	
③敷金	2,821,000	
④減価償却引当特定預金	2,245,484	
その他固定資産合計	5,856,205	
固定資産合計		7,856,205
資産合計		15,986,568
II. 負債の部		
1. 流動負債		
(1)未払金	803,770	
(2)預り金	607,296	
流動負債合計		1,411,066
負債合計		1,411,066
III. 正味財産の部		
正味財産		14,575,502
(うち基本金)		(2,000,000)
(うち当期正味財産増加額)		(274,257)
負債及び正味財産合計		15,986,568

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 増加の部		
1. 資産増加額		
当期収支差額	274,257	
減価償却引当預金増加額	56,265	
資産増加額計		330,522
2. 負債減少額		
負債減少額	0	0
増加額合計		330,522
II. 減少の部		
1. 資産減少額		
什器備品減価償却額	56,265	
資産減少額計		56,265
2. 負債増加額		
負債増加額	0	0
減少額合計		56,265
当期正味財産増加額		274,257
前期繰越正味財産額		14,301,245
期末正味財産合計額		14,575,502

〈参 考〉

国際自動車コンプレックス研究会 第16期収支決算書

(自 平成25年10月1日 至 平成26年9月30日)

収入の部

(単位:円)

科目	予算	実績	差異	対予算比率	備考
会費収入	1,510,000	1480000	-30,000	98%	
研究交流会収入	0	110000	110,000		
事業収入	0	0	0		
雑収入	0	138	138		
当期収入合計	1,510,000	1,590,138	80,138	105%	
前期繰越収支差額	393,087	393,087			
収入合計	1,903,087	1,983,225	80,138	104%	

支出の部

(単位:円)

科目	予算	実績	差異	対予算比率	備考
総会費	200,000	33,399	166,601	17%	
研究交流会費	250,000	277,714	-27,714	111%	
事業費	900,000	848,672	51,328	94%	
運営費	500,000	500,000	0	100%	
予備費	53,087	0	53,087	0%	
当期支出合計	1,903,087	1,659,785	243,302	87%	
次期繰越収支差額	0	323,440	(323,440)	0%	

監 査 報 告 書

東 三 河 懇 話 会
会 長 神 野 信 郎 殿

東三河懇話会の、平成26年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表およびその他の計算書類、関係帳簿を監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

平成27年5月13日

東 三 河 懇 話 会

監 事 豊橋信用金庫 専務理事

市 川 智 嗣



監 事 ㈱三菱東京UFJ銀行 豊橋支社長

木 村 雄 一



監 事 中部電力㈱ 豊橋営業所長

伊 藤 芳 幸



議案3. 平成27年度事業計画(案)ならびに収支予算(案)の件

東三河懇話会

平成27年度事業計画(案)

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

1. 基本方針

国は平成27年を地方創生元年と位置づけ、地方自治体では人口ビジョンや総合戦略づくりを進めています。特に、人口減少・少子高齢化は我が国が直面する最大の課題ですが、大きな問題は人口構造のアンバランス化による影響であると考えます。これは、一つの自治体で解決できるものではなく、通勤環境や定住環境の整備も同様で、より一層広域で考えることが必要になります。こうした中、今年の1月に「東三河広域連合」が設立されました。東三河県庁、東三河広域経済連合会とあわせると広域的な仕組みが官・民でできたことになりました。「東三河はひとつ」の基本理念を継承しつつ、これからが持続発展的な地域づくりを具体化していく時期であると考えています。

また、今年、当会が昭和63年に発表した「東三河2015構想」の目標年です。この構想では、『生活の都づくり』を基本理念として、「三河港構想」「水資源構想」「東三河複合リゾート構想」等の提言を行いました。いくつかのものは実現し、この構想が東三河の進むべき方向を示す羅針盤になったのではないかと考えています。そこで、今年度の重点事業のひとつとして、「東三河2015構想」の総括として実現事象などの検証を実施します。

そして、官民連携では、これまでPFIやPPPなどが進められてきましたが、愛知県では道路管理の分野に「コンセッション方式」の導入を進める等、官と民との連携が新しいステージに発展します。地域づくりでも、益々、民の役割が高まっていくものと考えております。

「東三河2015構想」の基本方針であった『生活の都づくり』は、これからの時代にも求められる重要なテーマであることに違いありません。当会は、これまでも産学官民が集まる場を提供してきましたが、子供から高齢者、日本人も外国人も誰もが住みたい、訪れたい、学びたい、働きたいと思う日本のモデルになるような地域づくりを、これからも皆さんとの結束力を高めながら目指す所存です。

2. 事業計画

(1) 重点戦略事業

① 「東三河2015構想」の総括

東三河地域研究センターと共同研究で、今年、構想の想定年を迎えることになった「東三河2015構想」の実現現象の検証（振り返り）を目的とした検討会を立ち上げて、この構想の総括を実施する。

②三遠南信地域連携ビジョン

東三河産学官交流サロン、東三河午さん交流会等の事業を通じ浸透を図る。

③東三河広域連合、東三河広域経済連合会との連携

東三河地域研究センターと共同でシンクタンク機能をフル活用して、政策提言、ビジョン策定支援などで緊密な連携を図る。

(2) 広域連携事業

①国際自動車コンプレックス研究会

三河港振興会・自動車港湾委員会と連携をとりながら研究活動を継続。産学官連携活動、自動車関連観光実験の推進。防災計画、BCPの研究など「国際自動車コンプレックス計画」の実現に資する研究交流会、シンポジウム、視察会等の開催。

②三遠南信サミット

本年度は豊橋市で行われる予定の三遠南信サミットへの参加。県境を越えた三遠南信地域の連携・交流事業に協力。

③三河港振興会、三河湾浄化推進協議会、伊勢湾再生海域検討会

当地の最重要インフラ三河港の発展と三河湾の環境保全等に資するため関係諸団体との連携強化を図る。

(3) 産学官民交流事業

①東三河産学官交流サロン（12回／年）

産学官民の交流連携、情報交換の場を提供。東三河の産学官の講師からタイムリーな情報を発信する。

②東三河午さん交流会（10回／年）

地域に密着したさまざまな話題をピックアップ。主に、東三河においての文化的、芸術的活動を实践・貢献されている方々を紹介する。

③東三河5市長1郡町村会長を囲む新春懇談会

新春恒例の事業。東三河の全市長、北設楽郡町村会長のパネルディスカッションで、東三河のこれからの姿を展望する。

④視察会

年2回の開催を予定。「新東名高速道路建設現場視察会」ほか。

(4) 会員サービス事業

①三河港関連事業整備計画・東三河地区幹線道路整備計画の説明会

ともに三河港振興会と共催で6月に開催。本年度は既に、6月17日に港説明会、また6月30日に道路説明会の開催が決定している。

②東三河地域問題セミナー

東三河の今と将来を考え、地域をリードする人材育成のための基礎的、専門的な学習の場として東三河地域研究センターが主催する。会員内外に広く周知し、動員を図る。

③広報

会報誌MIKAWA—NAVI（季刊）の発行。新春特別版の発行。

ホームページによる広報。URL：<http://www.konwakai.jp>

(5) 会員増強

公益法人化した東三河地域研究センターの機能強化を訴求し、各プログラムを充実し、各界へ周知を徹底する。

平成27年度
収支予算(案)
(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

《 収入の部 》

(単位：円)

科目	平成27年度	平成26年度	平成26年度	前年	備考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
1. 会費収入	24,384,000	24,396,000	24,066,000	101.3%	
1) 法人会費	21,960,000	21,990,000	21,600,000	101.7%	183口(期末)
2) 個人会費	240,000	300,000	360,000	66.7%	2口
3) 特別会費	2,184,000	2,106,000	2,106,000	103.7%	28口
2. 事業収入	6,805,000	7,281,114	6,750,000	100.8%	
1) 産学官交流サロン	4,400,000	4,867,648	4,360,000	100.9%	
2) 午さん交流会	1,390,000	1,406,341	1,390,000	100.0%	
3) 新春懇談会	800,000	819,625	800,000	100.0%	
4) その他の事業	215,000	187,500	200,000	107.5%	
3. その他の収入	1,905,000	1,903,483	1,905,000	100.0%	
1) 特定預金取崩収入	0	0	0	0.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
2) 雑収入	1,905,000	1,903,483	1,905,000	100.0%	
① 受取利息	5,000	3,483	5,000	100.0%	
② 雑収入	1,900,000	1,900,000	1,900,000	100.0%	
当期収入合計	33,094,000	33,580,597	32,721,000	101.1%	(A)
前期繰越収支差額	1,660,007	1,385,750	1,385,750	119.8%	
収入合計	34,754,007	34,966,347	34,106,750	101.9%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	平成27年度	平成26年度	平成26年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
1. 運営事業費	2,000,000	1,931,791	2,050,000	97.6%	
1) 総会・理事会費	750,000	723,773	750,000	100.0%	
2) 広報費	1,150,000	1,115,303	1,200,000	95.8%	
3) 講演・説明会費	100,000	92,715	100,000	100.0%	
2. 事業費	6,520,000	7,330,931	6,260,000	104.2%	
1) 産学官交流サロン	4,220,000	4,893,090	3,960,000	106.6%	
2) 午さん交流会	1,300,000	1,350,697	1,300,000	100.0%	
3) 新春懇談会	800,000	883,592	800,000	100.0%	
4) その他の事業	200,000	203,552	200,000	100.0%	
3. 調査・研究費	11,968,000	11,868,623	11,862,000	100.9%	
1) 調査・研究費	8,128,000	8,132,000	8,022,000	101.3%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,840,000	3,736,623	3,840,000	100.0%	
4. 管理費	12,493,000	12,118,730	12,439,000	100.4%	
1) 給料手当	5,390,000	5,324,623	5,320,000	101.3%	
2) 福利厚生費	1,070,000	1,029,112	1,030,000	103.9%	
① 福利厚生費	200,000	195,519	170,000	117.6%	
② 法定福利費	870,000	833,593	860,000	101.2%	
3) 会議費	20,000	14,310	15,000	133.3%	
4) 旅費交通費	216,000	195,210	216,000	100.0%	
5) 通信運搬費	624,000	615,064	570,000	109.5%	
6) 消耗品費	672,000	559,753	756,000	88.9%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	672,000	559,753	756,000	88.9%	
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	140,000	114,858	150,000	93.3%	
9) 新聞・図書費	218,000	214,548	218,000	100.0%	
10) 水道光熱費	280,000	233,878	300,000	93.3%	
11) 賃借料	3,384,000	3,383,988	3,384,000	100.0%	
12) 交際費	60,000	18,217	60,000	100.0%	
13) 諸会費	359,000	359,000	360,000	99.7%	
14) 雑費	60,000	56,169	60,000	100.0%	
5. その他の支出	56,265	56,265	56,265	100.0%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	56,265	56,265	56,265	100.0%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	56,265	100.0%	
当期支出合計	33,037,265	33,306,340	32,667,265	101.1%	(C)
当期収支差額	56,735	274,257	53,735		(A) - (C)
次期繰越収支差額	1,716,742	1,660,007	1,439,485		(B) - (C)

〈参 考〉

国際自動車コンプレックス研究会 第17期収支予算書

(自 平成26年10月1日 至 平成27年9月30日)

収入の部

(単位:円)

科目	第17期予算	第16期予算	第16期決算	備考
会費収入	1,480,000	1,510,000	1,480,000	
研究交流会収入	0	0	110,000	
事業収入	50,000	0	0	
雑収入	0	0	138	
当期収入合計	1,530,000	1,510,000	1,590,138	
前期繰越収支差額	323,440	393,087	393,087	
収入合計	1,853,440	1,903,087	1,983,225	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額(a)	第16期予算	第16期決算	備考
総会費	150,000	200,000	33,399	
研究交流会費	250,000	250,000	277,714	
事業費	900,000	900,000	848,672	
運営費	500,000	500,000	500,000	
予備費	53,440	53,087	0	
当期支出合計	1,853,440	1,903,087	1,659,785	
次期繰越収支差額	0	0	323,440	

東三河懇話会

〒440-0888 豊橋市駅前大通 2-4-6 名豊ビル 6階

TEL (0532)55-5141 FAX (0532)56-0981

E-mail info@konwakai.jp

URL <http://www.konwakai.jp>